

「第6次八百津町総合計画」策定にかかる
パブリックコメントの回答について

| No. | 該当箇所 | 意見及びその理由（事務局編集） | 町の考え方 |
|-----|---|---|--|
| 1 | 第1編第1章 計画の策定の 主旨 | 「デジタルを活用した暮らし方」に注釈をつけて説明してください。 | P2 注釈を追加しました。 |
| | | 「巨大地震」を「南海トラフ地震」に修正してください。 | 南海トラフを含むすべての巨大地震としております。 |
| | | 「頻発する水災害」を「土砂災害」などの八百津町の実態に合わせた表現にしてください。 | P2 ご意見を踏まえて、修正しました。 |
| 2 | | 計画の構成のうち、実施計画は本冊子に掲載されていないこと、別途公開することを明示してください。 | 実施計画は、社会情勢や財政状況など様々な要素を勘案しつつ、事務レベルでの細かな積み上げをして常に見直しを行いながら、柔軟に策定して予算化し、各種事業を展開しております。 従いまして、常に変化する実施計画を公開することは、計画と予算との相違などの誤解や混乱を招くため、公表は適当でないと考えます。 |
| 3 | 第1編第2章 計画策定の背景 | 第6次の計画策定にあたり、第5次八百津町総合計画の進捗とその着地予想について明示する必要はないでしょうか。 | 計画策定にあたっては、その作業の中で第5次計画の進捗評価に係る各課ヒアリング等を実施して、すべての施策に係る各種の事務事業ごとの評価をはじめ、町民アンケートから見た課題や方向性、社会環境の変化や施策の動向、次期計画を検討するための中長期的展望について、それぞれ総括を行った結果として、各施策の現状と課題に反映しております。 前計画との対比については、その作業は前述のとおり行っておりますが、各種事業があらゆる方面に渡ることや、その数に相当のボリュームがあることから、計画の中で表すことが困難なため、明示しておりません。 |
| 4 | | 第5次から第6次にかけて何が変わったのかわかりにくいいため、前計画との対比があるべきではないでしょうか。 | |
| 5 | 第1編第2章 計画策定の背景 第2編第1章 八百津町の将来像 | 現行の第5次計画の将来像が抽象的で曖昧であると考えており、第6次計画においては将来像を明確にして町民にもわかりやすく認識のズレが生じないようにする必要があります。 | 将来像は「こんな町を目指します」という、本町の8年後の姿をキャッチフレーズ的に表現したもので、特定分野・施策だけでなく、まちづくり全体を表現しているものであり、まちづくりの理念を推進していくために本計画の趣旨や内容について、広く周知を図っていきます。 |

| No. | 該当箇所 | 意見及びその理由（事務局編集） | 町の考え方 |
|-----|---------------------------------|---|---|
| 6 | | 「1. 将来めざすまちの姿」と「2. 八百津町の将来像」を分けている理由がわからず、一貫性が感じられないため、1つにまとめてもいいのではないかと。 | P12 ご意見を踏まえて、修正しました。 |
| 7 | | 目的と手段が混同されたように思える記載内容が散見される。 本項目は「将来のめざすまちの姿」という目的を記載する部分であるため、ここに手段を記載してしまうと、それが目的を達成するための絶対的な手段であるように認識されるため、「手段」に関する内容は3編以降に記載すべきと思う | P12 ご意見を踏まえて、修正しました。 |
| 8 | | 現在、国によって進められている、新丸山ダム整備事業(国道418号改良工事等を含む)の進捗状況とそれに伴う将来像を記載してください。 | 当該事業については国の事業であるため、町の総合計画の中に事業の進捗状況を記載するのは適当でないと考えます。 引き続き事業主体である国と連携し、事業の概要・状況等を随時お知らせし、また、将来像や周辺整備等については、事業の進捗に応じて検討してまいります。 |
| 9 | | 都会で町の名前を聞いたり、移住者の方などの話を聞いたりして八百津町の良さを再認識しました。見方が変わると、感じ方も変わり、短所だと思っていたところが長所に見えてきたことで、八百津に住んでいることが「誇り」となっていました。八百津に住んでいる人が八百津の魅力に気付き、「八百津のファン」が増えていけば良いと思います。 | ご意見ありがとうございます。 将来像で掲げた‘やおつらしさ’を大切に、町民や町に関わりのある皆さんが誇りに思っていただけのように、町民や町内外の事業者、行政が一体的に取り組む事が重要であると考えます。 |
| 10 | 第2編第2章 まちづくりの 基本方針 | 施設の連携で「ハヤブサ・ミュージアム」「めい想の森」、丸山ダムを生かした自然環境の魅力を記載してはいかがでしょうか。 | ご意見ありがとうございます。 本計画の加筆・修正は行いませんが、ご意見を参考にさせていただき、引き続き施策・事業を推進してまいります。 |
| 11 | 第3編第1章 施策1-2 健康づくりの 推進 | 健康には質の良い食糧と飲料、そして空気が必要です。オーガニック給食や有機野菜、水源を守る事が求められると思います。 特に、室内での空気汚染が注目されています。毎日吸っている空気が改善される事で健康を守る事に繋がると思います。 | ご意見ありがとうございます。 本計画の加筆・修正は行いませんが、ご意見を参考にさせていただき、引き続き町民が健康に暮らせる環境づくりに取り組んでまいります。 |
| 12 | 第3編第1章 施策1-4 高齢者福祉の 充実 | 空き家を改修して給食センターを作り、配達ヘルパーや有料ボランティアなど、近所の顔見知りで運営してはどうか。 地域密着であるなら、社協のヘルパーや小規模デイサービス、支援事業所が1つになった事業を展開してはどうか。 空き家を活用して、通所サービスへの通いや宿泊、訪問介護を組み合わせたサービス事業 | ご意見ありがとうございます。 配食サービス等のご提案は、施策の方針の生活サービスの充実に掲げており、今後も更なるサービスの充実に向けて検討して参ります。 |

| No. | 該当箇所 | 意見及びその理由（事務局編集） | 町の考え方 |
|-----|---------------------------------|--|--|
| | | を展開してはどうか。 | |
| 13 | 第3編第2章 施策 2-1 人道のまちづくりの推進 | 『人道』を八百津町の根幹にあるべき精神として掲げているにも関わらず、他の施策と比較して、施策の方針のボリュームがあまりに少なくはないでしょうか。 | P 3 3 ご意見を踏まえて、他の施策とのバランスなどを考慮して、施策を追加しました。 |
| 14 | (第3編第3章 戦略2 人を育む) | 本町の特色として、「地域のなかで育まれた人の営み・文化・自然を大切に、発展させる、体験・交流を核とした地域を学ぶ教育の推進」を第一に加えてください。 各学校で行われている地域学習がもっと脚光を浴びて良いと思う。町としてももっと支援し、広報してください。 | ご意見ありがとうございます。 本計画の加筆・修正は行いませんが、ご意見を参考にさせていただき、引き続き地域学習を継続して推進します。 |
| 15 | 第3編第2章 施策 2-2 学校教育の充実 | 施策の方針③に小中学校の再編について『検討します』とされていますが、『検討します。』で終わらずに『再編の可否を決定します。』と明示していくべきではないでしょうか。 | 八百津町小中学校の今後の在り方検討委員会の答申（令和4年3月）で示された適正化の基本的な方針（「将来的に1小学校1中学校への統合」を目指した検討をしていただきたい）を尊重しつつ、ただし書きとして付記されている、「現在や今後の各学校の個別の状況を鑑みた対応」が重要であると考え、案のように表現しております。 |
| 16 | | 「八百津町小中学校の今後の在り方検討委員会」の答申には反対の立場なので、「今ある4つの小学校、2つの中学校を残し、工夫しながら各学校の教育を発展させる」に変更してください。 若い世代・子育て世代にとって、自分の家の近くに学校があることが定住の大事な条件であり、人口の防波堤となると考えると思います。 | |
| 17 | | 中高一貫教育＝具体的な事例を加筆してください。 | P 3 4 ご意見を踏まえて、具体例を追加しました。 |
| | | 「インクルーシブ教育」に注釈をつけて説明してください。 | P 3 1 施策 1-5 にて注釈を記載しております。 |
| 18 | | 金銭的なこと、施設的な理由等で難しいのは重々承知していますが、オーガニック給食を実現してほしいと思います。 年1でもオーガニック給食実現は近隣自治体の学校との差別化になるかと思います。 | ご意見ありがとうございます。 本計画の加筆・修正は行いませんが、給食の提供にあたっては、安定的な食材供給や調理のしやすさなども重要です。 |
| 19 | | 給食食材の有機野菜比率を高める方針を示し、有機農家を増やすサポートをしてはどうでしょうか。 学校給食の受け口があればある程度の収入を期待でき、有機農家で新規就農もしやすく、供給量も増えると思います。 | ご意見を参考にさせていただき、引き続き安心・安全でおいしい給食の提供に取り組んでまいります。 |
| 20 | 第3編第2章 施策 2-3 生涯学習の推進 | 各地区出張所施設を生かして自治会が主体的に取り組む集いの場づくりを支援していただけないでしょうか。 | ご意見ありがとうございます。 本計画の加筆・修正は行いませんが、ご意見を参考にさせていただき、引き続き地域での生涯学習の取組を支援してまいります。 |
| 21 | 第3編第2章 施策 2-5 地域文化の継承と創造 | 文化財の保存を図るための調査・収集に加えて活用すること、並びに文化財の保存管理のための施設、体制について検討することを加筆してください。 | ご意見ありがとうございます。 本計画の加筆・修正は行いませんが、文化財の活用については、すでに取り組んでおり、ご意見を参考にさせ |

| No. | 該当箇所 | 意見及びその理由（事務局編集） | 町の考え方 |
|-----|----------------------------|--|---|
| | | 文化財の調査収集、活用にかかる設備及び人的体制の整備は急務と思います。 | ていただき、引き続き施策・事業を推進してまいります。 |
| 22 | 第3編第3章 施策 3-1 農業の振興 | 鳥獣被害は家庭菜園などを含め八百津町の魅力を損なうものであるため、現状と課題に「地域での居住の魅力を大きく損なう」という内容を加筆してください。 | P 4 2 ご意見を踏まえて、修正しました。 |
| 23 | | 鳥獣害対策について、多様な対策を強化することを加筆してください。 | ご意見ありがとうございます。 本計画の加筆・修正は行いませんが、ご意見を参考にさせていただき、引き続き鳥獣害対策を推進してまいります。 |
| 24 | | 有機農業を推進する国の方針に沿って、八百津町でもオーガニック宣言をして、目標とされている面積ベース 25%に近づけたらいいと思います。 有機農業は大量生産が難しく、面積拡大や効率化はかなりきついため、町外からの新規就農者を増やすか、町内で有機農家になりたい方を増やす必要があります。 | ご意見ありがとうございます。 本計画の加筆・修正は行いませんが、有機農業の普及や町内の農業・農家の状況などを総合的に勘案して、具体的な取組を検討してまいります。 |
| 25 | | 「慣行農法との共存を図りながら」という文言は、有機農業を推進する気持ちが弱いように感じます。はっきり「有機農業を推進します！」と宣言した方が町の発展につながると思います。少々町内から批判の声があってもしかたないと思います。 | ご意見ありがとうございます。 有機農業の推進にあたっては、慣行農業との共存は考慮すべきであると考えております。 |
| 26 | 第3編第3章 施策 3-3 商工業の振興 | やおつストリートフェスティバルは、毎年大勢の集客があって凄いです。もっと町民が参加できるといいと思いました。 また、すでにあちこちでマルシェが開かれ、様々な繋がりを持ち広がり続けています。 町内の様々なイベントに、八百津町のマンパワーを取り入れることが必要だと思います。 | ご意見ありがとうございます。 本計画の加筆・修正は行いませんが、ご意見を参考にさせていただき、引き続きにぎわいづくりを推進してまいります。 |
| 27 | | 施策の方針③企業誘致の推進・雇用確保として、企業誘致を推進する、と記載はありますが、製造業の誘致に対して重要度を上げて取り組んでいただけないでしょうか。 | ご意見ありがとうございます。 本計画の加筆・修正は行いませんが、いただいたご意見を参考とさせていただき、社会経済状況などに応じて企業誘致を進めてまいります。 |
| 28 | 第3編第3章 施策 3-4 観光の振興 | 現在の丸山ダムもそうですが、新丸山ダム整備後は更に素晴らしい観光資源になると思われます。周辺の道路整備や広場でのイベントなどの構想が必要だと思います。 | P 4 9 ご意見を踏まえて、追加しました。 |
| 29 | | 新丸山ダムのかさ上げ工事に関する事、飛騨木曾川国定公園に指定されていることを加筆してください。 | |
| 30 | | 新丸山ダムの工事に伴い、丸山湖、蘇水峡、錦織綱場跡、八百津発電所（重要文化財）、黒瀬港跡といった「八百津町の歴史文化を飛騨木曾川国定公園の魅力向上に活用するための検討」などの文言を加えてください。 | |
| 31 | | 八百津の花火大会は、打ち上げの際の音や | ご意見ありがとうございます。 |

| No. | 該当箇所 | 意見及びその理由（事務局編集） | 町の考え方 |
|-----|---------------------------------|--|---|
| | | 山々での反響も魅力的であるので加筆してください。 | 本計画の加筆・修正は行いませんが、ご意見を参考にさせていただき、引き続き観光振興に取り組んでまいります。 |
| 32 | | 観光振興は、美濃加茂市など周辺市町村との連携をしていくべきだと思います。 | |
| 33 | | はやぶさミュージアムに行った方の評価が分かれている印象で町外の方に対しても説明の仕方イメージがすごく変わると思います。 | |
| 34 | 第3編第4章 施策 4-2 道路・公共交通網の充実 | 国道418号線の飯地から国道19号線の接続道路の整備について要望することを加筆してください。 | ご意見ありがとうございます。 本計画の加筆・修正は行いませんが、当該事業については、事業主体の岐阜県に整備の働きかけを行っております。 ご意見を参考にさせていただき、引き続き整備促進に取り組んでまいります。 |
| 35 | パブリックコメントの進め方 | この総合計画に限らずパブリックコメントを募集する案件では、解説資料を提示されてはいかがでしょうか。 パブリックコメントを募集するにあたり、町民の誰にでも分かるようにされる『思いやり』が欲しいと思います。 | ご意見を踏まえ、今後のパブリックコメント実施に際しては、わかりやすい参考資料の提示などに努めてまいります。 |